さんさん、きらきら　36号

光り、輝く、チーム南陽小　～考えよう、語り合おう～

令和5年5月26日
長崎市立南陽小学校
学校だより
校長　寺田　成広

運動会プレイバック

5月21日　日曜日　五月晴れの清々しい空の下、令和5年度の運動会を開催しました。

今年度のスローガンは「楽しく　あきらめず　全力で　光り輝け　南陽小」でした。そして、準備練習から本番の当日まで、子どもたちは見事にこれを体現してくれました。一人一人が、学級が、学年が、素晴らしく光り輝いていました。

今号では、光り輝いた子どもたちの姿を、場面ごとにプレイバックしていきます。

児童代表あいさつ（1年生）

代表は、1組緒●●●さん、田●●●●●●さん、2組小●●●さん、小●●●●●さん1年生のかわいらしさ全開。運動会で頑張ることを堂々と発表。

準備運動

●●ほ●●さんはじめ、体育委員会の示範のもとでラジオ体操を行う。

全校練習はしていなかったが、なかなかの動き。

フレーフレーNanyo

赤組、白組の5，6年生による応援・アピール。

どちらの組も、団長の小●●●●さん、本●●●●さんを中心によくまとまっていた。自分たちの気持ちを盛り上げつつ、見ている人を楽しませる工夫が秀逸。

徒競走（4年、3年、6年、1年）

緑が萌える芝生の上を、子どもたちが駆け抜けた。走る前の緊張感、走った後の達成感や喜びや悔しさ、運動会の徒競走でしか味わえない特別な感覚だと思う。大切な経験。小学校初めての運動会だった1年生も、50mの直線をしっかりと走り切った。

チャンス競技（2年、5年）

競争に偶然性を加えたチャンス競技。2年「いい湯だな」は、そこに『背中洗いダンス』のエンターテイメント性も入る。5年生「wawa　わわわ」には、フープを操るスキルも順位を左右。

Nanyo―Typhoon（3年）

3人一組のため、コーンを回る時にいかにスピードを落とさず回れるかがポイントだった。

自チームに声援やアドバイスを送る声が聞こえてきて、ウィズコロナを実感。

折り返すのだ。（2年）

フィールド内を使った折り返しリレー。

折り返し用のコーンを回る時と、途中に置かれたコーンを一回転する時のスピードが勝負の分かれ目。

足を滑らす子もいたが、次の友達に少しでも早くバトンを渡そうと懸命に走る姿が印象的。

他の画像が２８０枚ほどあります。こちらをクリック　⇒運動会｜長崎市立南陽小学校（nagasaki-city.ed.jp）

リレー（5年、6年）

各学級を二つに分けて、4チームで競う全員参加のリレー。今回5年生は、特にバトンパスに力を入れて練習してきた。前を向いたままスピードにのったバトンパスができていた。

ソコヂカラ（4年　表現運動）

力強いリズムと速いテンポの曲にのって、鳴子をもった4年生がかっこよく踊り切った。隊形移動もスムーズで、子どもたちの成長ぶりが表れた演技。

ダンシング玉入れ

軽快で楽しい曲「チェチェッコリ」に合わせてまずはダンスをして、曲間で玉入れをする。1年生がノリノリで踊っていると、見ていた2年生、その後全学年に踊りの輪が広がり、ダンスも玉入れも大いに盛り上がる。

南陽っ子ソーラン2023～絆～

運動会種目の締めくくりとなる、6年生表現運動。
腰のよく降りた姿勢から、よさこいソーランの曲に合わせて大きく動き、力強さが表現されていた。
大トリにふさわしい演技。最後の最後の法被の投げ上げもばっちり決まった！

表彰

赤白の力が拮抗し、得点も大接戦。
最後はわずか3点差で赤組の優勝となったが、どちらが勝ってもおかしくないほど良い競い合いだった。各組の団長にそれぞれ賞状を渡し、健闘を称えた。

児童代表あいさつ

6年永●●●さんが、言葉を述べた。
運動会での各学年の頑張りを称えるとともに、小学校最後の運動会となった6年生にとってのこの運動会の価値を、表現力豊かに語ってくれた。
さすが6年生と思わせるあいさつ。

終わりになりますが、運動会開催にあたっては、芝生手入れ期間に作業をしてくださった皆様や、本校恒例の鯉のぼりをあげてくださった南陽ファザーズの皆様、受付や駐車場誘導、近隣店舗への駐車禁止周知等の役割をこなしてくださった育友会の皆様、こうしたたくさんの力添えをいただきました。心より感謝申し上げます。

他の画像が２８０枚ほどあります。こちらをクリック　⇒運動会｜長崎市立南陽小学校（nagasaki-city.ed.jp）